

記憶

memory

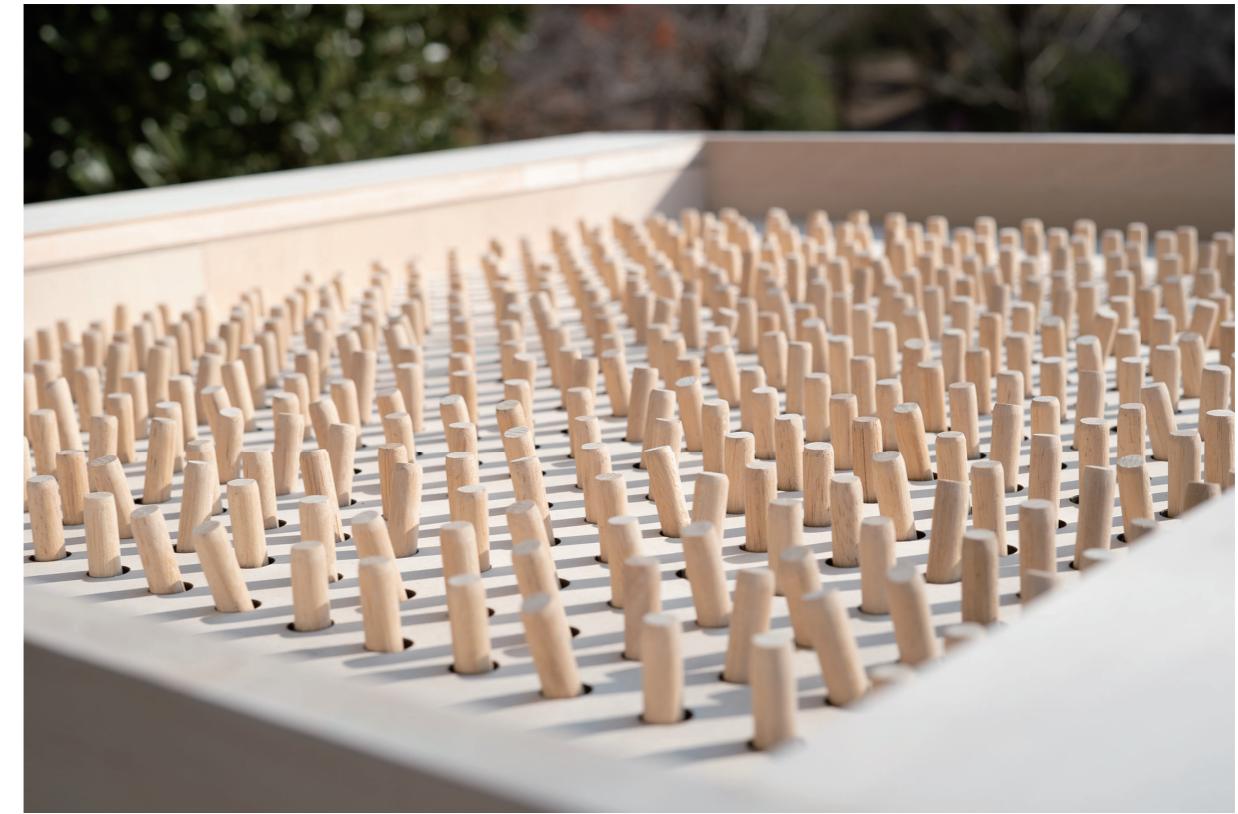


奥に眠るもの

Things Sleeping Deep Inside

人々の記憶に眠る「何か」を想起させるものを制作した。木々のざわめき、風の立つ海、駆け抜ける草原など、人類がずっと昔から持っていたような、しかしどこかに置いてきてしまったようなもの。ハンドルを回すと蘇る、記憶。

I created this work to awaken “something” that lays dormant in people’s memories. The rustle of leaves in the trees, the ocean whooshing on a windy day, the murmur of grasslands – these things have accompanied humanity from ancient times, yet got left behind and overlooked. A distant memory comes alive as you turn the handle.



奥の方に眠る 何か
ある瞬間に引き出される あの日の色
深淵の歯車が回り出す

この匂いは 七年前の金木犀
この声は 待ちぼうけの鸞
この空は 君とみた夕暮れ
噛み合わない歯車の隙間には
いつも 忘れ物があつて
ぽんやりとした輪郭が漂う
見つからないんだ
どこかに 置いてきたはずなのに
どこかに 隠しておいたはずなのに
わからなんんだ それが
山だったか 海だったか 風だったか